

いちのみやの芸術文化

- 特集花子「近代ヨーロッパを翔けた日本人女優」
- 役員紹介・加入団体一覧
- 加入団体の紹介
- これからの催し

扇子を持ち
ポーズする花子

2012.6

第21号

一宮市芸術文化協会

「二宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

花子

Petite Hanako

近代ヨーロッパを翔けた日本人女優



ヨーロッパへ

それまでの武家政権から近代日本へと新しい時代を迎えた慶応四年(明治元年：一八六八)、尾張國中島郡上祖父江村の太田八右衛門に長女が生まれました。後に、ヨーロッパで舞台女優として活躍し、「近代彫刻の父」であるロダンのモデルとなった花子(本名は太田ひさ)です。

花子は二歳で上祖父江から名古屋に移り、旅芸人一座のもとで芸者修行をして、少女時代を過ごし、十六歳の頃には一人前の芸者になっていました。

養父の破産や二度の離婚等、三十代前半まで花子の人生は苦難の連続でした。そのような中、明治三十五年(一九〇二)、三十四歳の時、デンマークのコペンハーゲンの動物園で興行をするに際し、芸者を募集す



▲花子の遺品
(ぎふ「ロダン&花子」の会蔵)

るといふ話が花子のもとに舞い込みました。花子はこの募集に応じて、日本を離れることになりました。花子はその時の心中を次のように記しています。

「之で恥辱を人に見らるゝ丈けは免れた。此の上は一奮発して何にでもあれ一旗上げて成功せねば帰つて来ることでない。」

このような強い信念を持ち、渡海した花子はデンマークでの興行を無事に終えました。ところが、多くの仲間が帰国する中で、一人、ヨーロッパに留まりました。このまま一人で帰国するよりも、新天地で一旗揚げようと決心したのです。



◀「扇子を持ちポーズする花子」(個人蔵)

撮影年・撮影地 不詳



ヨーロッパでの活躍

花子はイギリスのロイ・フラールという興行主に見出され、一座を結成し、大正五年(一九一六)の一時帰国まで十四年間、ドイツ、イギリス、北欧等、ヨーロッパ各地を興行して廻りました。また、ロイ・フラールによって花子という芸名も命名されました。

花子がヨーロッパで活躍した時期は日本という国がヨーロッパでも注目されていた時期でした。花子がヨーロッパに渡った明治三十五年(一九〇二)には日英同盟を締結し、明治三十八年には日露戦争に勝利しました。ドイツでの興行では「折柄日露戦争中の事とて、日本人は何処何処へ往きまして、大評判、大人気、何処の劇場も破れんばかりの大人を取りました」と回顧

しています。オーストリア皇帝や各国の要人、名俳優とも会っています。ロダンともこの時期にフランスで開催されていた舞台で出会いました。花子の舞台のクライマックスで、短刀を自ら突き刺す断末魔の表情に、ロダンは強い衝撃を受け、花子にモデルを依頼しました。花子はとても小柄で、ロダンから「プチト・ハナコ」と呼ばれ、かわいがられたそうです。また、ロダンはその人の性格や人柄を表現していなければ意味がないと考えていたため、何度も目を



▲縁日の見世物小屋の花子(個人蔵)
中央の人物が花子。



◀(上)「死の顔」レプリカ
(下)「空想する女」レプリカ
(ぎふ「ロダン&花子」の会蔵)

作ってはやり直し、彫刻「死の顔」(写真)

ができあがるのに三年もの月日がかかりました。花子をモデルにした作品は五十八点の彫刻と三十点以上のデッサンがあり、これほど作品にしたモデルは他にはいません。

大正三年(一九一四)第一次世界大戦が勃発したため、花子は同盟国のイギリスに避難しました。大正五年に一時帰国し、翌年に再度、イギリスに渡りました。ロンドンで日本料理店を営み、大正十年(一九二一)五十四歳の時に帰国しました。以後、岐阜市西園町で過ごししました。

帰国後

花子は自分の事を周囲に話すことはありませんでした。そのため、一部の文化人を除いて花子の存在は業界でも知られていませんでした。

しかし、花子のヨーロッパでの活躍はこ



▲一宮市尾西歴史民俗資料館内

れまで見てきたように大成功でした。明治

維新後、日本は世界の中に打って出た新興国でした。花子はその日本という国をヨーロッパ諸国の人々に意識させた人物の一人だったといっても過言ではありません。花子は太平洋戦争末期の昭和二十年四月二日、七十七歳で人生の幕を降ろしました。八月には日本は連合国に降伏しました。偶然にも新時代の幕開けの年に生まれ、その幕引きの年に亡くなりました。

現在、市内に残る花子に関する唯一の資料は一宮市尾西歴史民俗資料館に残る石柱と上祖父江八剣社に残る造営記念碑です。石柱には「岐阜市西園町太田八右工門」と刻まれています。花子やその兄弟が父の名前で神社に寄附したと考えられます。

【参考】太田花子「藝者で洋行し女優で帰る迄の廿年」(新日本新年号 大正6年)

一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史



▲上祖父江八剣社内



会長就任挨拶

一宮市芸術文化協会 会長 加藤 昌 義

此の度、はからずも、林英夫前会長の任期満了に伴い、会長の責務を担うことになりました。元より浅学非才、その器ではありませんが、誠心誠意、重責を全うすべく、努力をしたいと思つて居ります。皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

昨年は千年に一度と云われた想定外の、東日本大震災があった激動の一年でした。未だ瓦礫の処理等、行われていたりしています。それでもようやく復興のキザシが、見えて来た様に思います。早く皆さんが、安心して暮らせる街になる様にしたいものです。拵て、一宮市芸術文化協会が発足して五年の年月がすぎました

が、その間の団体数が百二十五団体という大世帯となりました。これもひとえに会員の皆様始め、関係各位の熱意や、多くの市民の尽力添えの賜と、深く感謝致しております。その活動ぶりは、先ず、文学部に於いては、「いちのみや文芸」の冊子にある、随想・随筆、

詩、短歌、俳句、川柳、狂俳等、多面性を持った素晴らしい作品があり、美術部は、毎年行われている、一宮の文化水準の高さを示す「一宮総合美術展」、それに「県文連美術展」への多数の入賞、入選。又、音楽部では、吟剣詩舞の発表会、吹奏楽やコーラスの高度な演奏、それに芸能部は、津島市で開催された「県文連西尾張部芸

能大会」に出演する等、毎年行われる一宮市の芸術祭を盛り上げていただいた各部門のご活躍は、多くの皆様により香り高い文化を提供していただきました。このように市民の方々に親しまれ、共に歩んでまいりました。

「人生八十年」と云われる今日、高齢化が進み、現代の世相は心の潤いを求め、之を満たす日々の役割は芸術や文化の一翼を担う私達には、極めて大きいと思います。会員各位におかれましても、自由闊達な創造性や、豊かな発想を持つて共に手をとり、一宮市芸術文化協会躍進のため、一層のお力を賜わります様、心からお願い申し上げます、ご挨拶とします。

平成24・25年度

一宮市芸術文化協会新役員

役員名		氏名	備考
名誉会長	谷 一夫	一宮市長	
顧問	林 英夫	元尾西市教育長	
会長	加藤 昌義	同派会	
副会長	不破 皓	尾西ウインドオーケストラ	
会計	寺 西洋二	木曾川絵画同好会	
監事	小島 祥子	一宮音楽家協会	
	細井 進	神道一刀流剣詩舞会	
	竹内 広	木曾川ライトソングクラブ	

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

文学部					部
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部門
			○		部長
青木 小代子	後藤 富士雄	山本 宏	坂井 斉	山本 光位	氏名
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名

文社化部会			芸能部		音楽部						美術部				部			
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	管弦楽部門	吹奏楽	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
○			○					○								○		部長
柳原 たつ子	堀 芙美子	岩田 宗晋	木全 修	佐々 智恵子	浅井 英仁	山中 貞雄	久野 以早夫	鎌田 猛	森 恒夫	小川 統山	安藤 治仁	則武 穹	鵜飼 辰郎	高山 悟	丹羽 桃慶			氏名
一宮アーティフィシャル フラワー協会鶴の会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	旭雅楽会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	一宮写真協会	道会一宮支部 公益社団法人中部日本書	一宮美術作家協会 ／デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 ／洋画部	桃墨会			団体名

加 入 団 体 一 覧

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
文学部	短歌部門	真清短歌会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		青の樹短歌会	毎月第1土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
	俳句部門	一宮市民俳句教室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		濃美一宮俳句会	毎月第4木曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		北方俳句会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
		葉栗俳句教室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館
		本町俳句会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
		ききょうの会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 大志公民館
		千秋老人俳句クラブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
		神山女性句会	毎月第1・2土曜日：午後1時30分～ 神山公民館
		浅井土筆句会	毎月第3木曜日：午後1時～ 浅井公民館
		尾西牡丹会	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾西句会	毎月第2金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター、第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
	尾西佛手柑句会	毎月第2日曜日：午後3時～ 応蓮寺	
	一宮市尾西市民俳句会	毎月第3土曜日：午後1時30分～ 尾西歴史民俗資料館	
	尾西新樹会	毎月第1月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
川柳部門	一宮川柳社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
狂俳部門	一宮狂俳壇連盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
詩部門	一宮現代詩協会	事務局へお問合せください。	
	一宮漢詩瀟聲會	毎月第1火曜日：午前10時30分～ 豊島図書館	
美術部	日本画部門	一宮美術作家協会/日本画部	事務局へお問合せください。
		桃墨会	第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター、毎月第2・4土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター
	洋画部門	尾西作家協会	事務局へお問合せください。
		一宮美術作家協会/洋画部	事務局へお問合せください。
		尾西絵画クラブ	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		彩の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		水絵の会	毎月第1・3金曜日：午前10時～、第2土曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		グループ絵ごころ 三美会	年間約30回：1回2時間 三岸節子記念美術館
		楽しく描こう会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		尾彩	月2回土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		ポピーの会	毎週水曜日 講師宅
		尾西ガリバンパンの会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		パレット会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		木曾川絵画同好会	毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館北館
		ブルシャンプルー	毎月第1・2木曜日：午後1時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		イエローオーカー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		山ぶどうの会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
		土筆の会	毎月第1・3火曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター
		いぶき	毎月第2・4月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
		タンポポの会	毎月第2・4火曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
	あざみの会	毎月第1・3水曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	花畑	毎月第2水曜日：午前9時～ 北方公民館	
	デザイン・工芸彫塑部門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。
		陶順会	毎週月・火・金・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター
		楽陶会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 講師宅
		美省会	月2回日曜日：午前10時～ 講師宅
		尾張もめん伝承会	毎月第4日曜日：午後1時30分～ 産業体育館
	書部門	尾西面打会	毎月第1・3土曜日：午前9時～ 尾西グリーンプラザ
		公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	事務局へお問合せください。
		麗筆会	事務局へお問合せください。
	写真部門	象友会	毎月第1・3水曜日：午前10時～、土曜日：午後1時30分～ 吉田公民館
		日中古墨書道友好協会尾張支部	毎週水曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	音楽部	邦楽部門	一宮写真協会
一宮三曲協会			事務局へお問合せください。
三山会			月2回土・日曜日：午後2時～ 講師宅
里音会			毎週土曜日：午後3時～ 金剛幼稚園
すみれ箏の会			(随時) 講師宅
美友会			週1回：午前10時～ 講師宅
藤乃会 尾西教室			(随時) 講師宅
尾西三味線 薫世智会			毎月第1・3木曜日：午前9時～、第2・4木曜日：午前11時～ 小信中島つどの里
津軽三味線 恋糸	(随時) 講師宅		

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
音 楽 部	謡 曲 部 門	相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ ルポテンサンビル
		い づ み 会	毎週土曜日：午後1時～ 奥公民館
		竹 石 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社
		誠 諷 会 ・ 緑 風 会	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 河端公民館、毎月第1・3水曜日：午後1時～ 島村公民館
		清 宵 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館
		丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館
	吟 剣 詩 舞 部 門	紅 韻 会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅
		一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター、毎週土曜日：午前10時～ 尾西文化広場
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	毎週木曜日：午後7時～ 金曜日：午後1時30分～ 小信中島つどの里 第4土曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター西館
		剣 詩 舞 道 柳 翠 会	毎週水・金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 他
		濃 尾 吟 詠 会	毎週水曜日：午後2時～ 木曾川公民館
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	山 瑩 会	週1回 山瑩会教室他
		一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後7時～ 一宮カトリック教会
		尾 西 混 声 合 唱 団	月3回土曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター西館
		女 声 合 唱 団 蓮	毎週土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター西館
		民 謡 長 澤 会	毎週月～土曜日：講師宅 その他、事務局へお問合せください。
		佳 富 士 会	毎月第2・4日曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター
	器 楽 部 門	尾 西 民 謡 熹 世 智 会	毎月第4木曜日：午後7時～ 小信中島つどの里
		琴 伝 流 大 正 琴 稀 会	毎週金・土曜日：午後1時～ 尾西文化広場、第2・4火曜日：午後1時～ 産業体育館
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 女 会	毎週火・金・土曜日：午前10時～ 開明老人いごいの家 他
		琴 生 流 大 正 琴 さ つ き 会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		清 の 琴 ・ ロ マ ン ス ハ ー プ	隔週火曜日：午前9時～ 尾西南部生涯学習センター、毎週木曜日：午前9時～ 玉野つどの里
		安 美 & コ ン プ リ オ	事務局へお問合せください。
		木 曾 川 ラ イ ト ソ ン グ ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後7時～ 木曾川公民館
		琴 生 流 大 正 琴 藤 明 の 会	毎月第1・3火曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	旭 雅 楽 会	毎月1、15、22、28日及び第2日曜日：午後6時～ 講師宅
		一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター
		尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館
		一 宮 シ テ ィ ー 室 内 管 弦 楽 団	毎月第2土曜日：午後6時30分～ 中日新聞一宮支局、毎月第4日曜日：午後1時30分～ 大森石油練習場
	芸 能 部	舞 踊 部 門	き そ が わ ポ ッ プ ス バ ン ド
一 宮 舞 踊 協 会			事務局へお問合せください。
ハ ワ イ ア ン ・ フ ラ			毎週火曜日：午前9時～、毎週水曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館
新 舞 踊 あ す か 会			毎週水曜日：午後7時～ 起つどの里
坂 東 流 百 喜 久 会			毎週火曜日：午前9時～ 尾西生涯学習センター
百 の 会			毎週土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
扇 寿 々 会			毎週月曜日：午後6時～ 向山公民館
芸 能 部 門		芳 美 会	毎週火曜日：午後7時～ 向山公民館
		結 び の 会	毎月第1・3火曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。
		同 派 会	事務局へお問合せください。
		弥 生 会	事務局へお問合せください。
		茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。
		茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。
社 会 文 化 部	茶 道 部 門	表 千 家 尾 西 玉 香 会	月3回 日曜日：午前9時～、火曜日：午後2時～ 講師宅
		尾 西 表 千 家 木 野 (文) 会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅
		尾 西 緑 寿 会	月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅
		尾 西 清 真 会	毎週火曜日：午後1時～ 講師宅
		表 千 家 尾 西 古 田 社 中	毎週月曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午後2時～ 講師宅
		裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中	毎週月・水曜日：午後7時～、金・土曜日：午前10時～ 講師宅
		松 風 会	毎週水曜日：午後5時～ 講師宅
		一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。
	華 道 部 門	池 坊 尾 西 玉 香 会	月3回 日曜日：午前9時～、火曜日：午後2時～ 講師宅
		尾 西 小 原 流 寛 社 中	月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅
		尾 西 池 坊 木 野 (文) 会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅
		小 原 流 尾 西 古 田 社 中	毎週金曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、金曜日：午前10時～ 土曜日：午後2時～ 講師宅
		尾 西 花 紘 会	毎月第4月曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター他
社 会 文 化 部 門	一 宮 ア ー テ ィ フ ィ シ ャ ル フ ラ ワ ー 協 会 鶴 の 会	毎週火曜日：午前10時～ 一宮スポーツ文化センター	
	一 宮 ア ー テ ィ フ ィ シ ャ ル フ ラ ワ ー 協 会 風 雅 の 会	毎月第2・4火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	一 宮 ア ー テ ィ フ ィ シ ャ ル フ ラ ワ ー 協 会 彩 華 の 会	毎月第1・3火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	歌 楽 会	毎月第3日曜日：午後7時～ 代表者宅	
	若 芽 会	月2回 (不定期) 事務局へお問合せください。	

加入団体の紹介

尾西ウィンドオーケストラ(びさいウィンドオーケストラ) (吹奏楽・管弦楽部門)

尾西ウィンドオーケストラは、昭和42年6月に勤労青少年を中心に発足し、音楽を通して地域における音楽文化の向上、発展に貢献することを目的とした音楽愛好家の自主団体です。

主な活動として、年2回の定期演奏会のほか、市民音楽祭や尾西芸能祭へ参加するなど活発に活動しています。

近年では、世界的に著名なアメリカの作曲家アルフレッド・リード博士(故人)を永久名誉指揮者として、また2010年には吹奏楽の父と呼ばれるアレンジャー(編曲家)の岩井直溥氏を名誉指揮者としてお迎えし、活動を行っています。

また、姉妹バンドである新潟県の上越市民吹奏楽団との交流も24年を迎え、昨年は一宮市に招き、ジョイントコンサートを開催しました。

シンガポールへは過去3回赴き、2002年12月には親交のあるタンジョンカトン女子校シンフォニックバンドを迎えて国際交流演奏会を開催

するなど、海外へ目を向けた活動も行っています。

7月1日(日)には、第71回定期演奏会を一宮市尾西市民会館で開催します。第1部は常任指揮者八城崇幸氏によるクラシックアレンジの数々を、第2部では、名誉指揮者の岩井氏をお迎えして、心温まる少し懐かしいポップスの数々をお送りします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



◀第69回定期演奏会指揮 岩井直溥

【問合せ先】 不破 皓 ☎090-2341-5332

加入団体の紹介

尾西清真会(びさいせいしんかい)

(茶道部門)

尾西清真会は、茶道表千家の日本伝統を学ぶ茶の湯の会です。会の名前は23年前に御縁があり、妙興寺の前無位老大師様に付けていただき、尾西清真会として活動してきました。

私達は、日々、一碗の茶によって同座する皆さんと共に、おもてなしの心を学んでいます。

また、繰り返しお稽古の茶に思いを入れて、季節とともに一服を心の糧とし、毎日の暮らしを整えてお稽古にはげんでいます。

日頃の練習の発表は、毎年11月に尾西市民会館で開催される「尾西華道展・お茶会」に参加しています。

また、一年を通して各地の献茶会などにも参加しています。そこでは自然の移り変わりや季節に応じてもてなすだけではなく、一日の時刻に応じて、「茶と懐石」の組合せをもって客をもてなす茶事の醍醐味を味わっております。

茶の湯は古くから私達の生活に根付き、日本

人の暮らしと切っても切り離せない存在です。この茶ほど愛され続けている飲み物はありません。一杯の茶は、あたたかなぬくもりや茶を入れる人の真心を、そしていただく人に安らぎを与えてくれます。

稽古日は毎週火曜日で、先生と楽しく学んでいます。私達と一緒に一服味わいませんか。是非お待ちしております。



◀教室にて

【問合せ先】 坂井 英美代 ☎69-1512

女声合唱団 蓮の歴史は、今から30年ほど前にさかのぼります。初めは「ボーカルエコー」という名前の団体で、色々な先生に指導していただき活動していました。

そして現在の講師でもある松本三紀夫先生を、専属をお願いするようになってから、女声合唱団 蓮が誕生しました。

今は結成時の初期メンバーはもちろん、新しい団員も加入し30～80歳代と幅広い年齢層の仲間達で活動しています。

昨年は蓮が誕生して、ちょうど10周年を迎え、2012年3月11日(日)に尾西グリーンプラザにて第3回演奏会を行いました。20曲以上を暗譜することや厳しい練習で、心身ともに辛い時期もありました。しかし、本番で歌う喜びや達成感を味わうことができ、すべての努力が報われた思いです。

私達は尾西の合唱団であるということを誇りに、

尾西音楽祭とコーラスフェスタに参加するとともに愛知県合唱祭にも毎年参加しています。また、来る12月2日(日)には松本先生が率いる5団体の一員として「MFCコンサート」を名古屋のしらかわホールにて行います。現在そのコンサートに向け、団員みんなで一生懸命練習しています。

あなたも、まだまだ進化し続ける女声合唱団 蓮の仲間になりませんか？



◀ 第3回演奏会の様子

【問合せ先】恒川 香奈子 ☎27-7325

私達の会は、平成19年度に開催された生涯学習講座「水彩画入門」の受講者で、講座が終了した後も、継続し発展を目指すべく自主グループとして発足しました。

「イエローオーカー」とは赤みがかった黄色のことで黄土色とも言われます。その色からは暖かい日差しや穀物、大地などがイメージされ、気持ちを豊かにさせてくれる色と言われています。また、どの色とも相性が良い重宝な色であることからグループ名にしました。

会の目標は、絵画の基礎から高度な技法までを修得することです。また、会員の意向に合わせて自由に、楽しく、明朗な会として発展していきたいと思っています。大変熱心に指導してくださる講師の三輪清弘先生は、「絵を描く人はボケないし長生きする。」と、絵の効用を説かれています。

発表の場は、毎年開催される「尾西展」に参加し、

他にも年2回、市内のギャラリーで絵画展を開催しています。また、バスでのスケッチ旅行も毎年行い、会員相互の親睦を深めています。

現在会員は男性10名、女性13名です。まだ現役で仕事をされている方から悠々自適な方までと、皆気さくな仲間ばかりです。毎月第1・第3土曜日の午前、尾西南部生涯学習センターで学んでいます。絵に興味がある方は気軽にのぞいてみませんか。



◀ 和気あいあいの教室

【問合せ先】柴田 靖雄 ☎62-3087

文化情報



「想い藤」 名倉勝三

《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館

☎(46)3215

企画展「馬と人々の暮らし」

日時 6月16日(土)～7月29日(日)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、月曜が休日の場

合は翌日休館、以下同じ)

内容 一宮市大毛沖遺跡からは、

木製の鎧が出土しています。

本企画展では、馬がどのよ

うに人々の暮らしにかかわ

ってきたかを紹介します。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中生・65歳以上無料(以下同じ)

「2012一宮美術作家協会展」

日時 9月1日(土)～9月17日(祝)

午前9時30分～午後5時

内容 一宮美術作家協会会員による最新の発想でイメージの

思索を展開した絵画・平面

彫塑・立体、デザイン、工

芸の力作を展示します

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

常設展「三岸節子

石の風景・水の風景」

日時 7月18日(水)～9月30日(日)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、月曜が休日の場

合は翌日休館、以下同じ)

内容 水の都ヴェネチア、パリ或

いはアンダルシアなど石造

りの街で描かれた重厚な石

の表現や、ユニークな構図

の水辺の風景に注目します。

観覧料 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

※市内小中生・65歳以上無料、7月18日(水)～9月2日(日)は小中生無料

こどもミュージアムプロジェクト

日時 7月18日(水)～9月2日(日)

午前9時～午後5時

内容 クラフトプログラム

「みるみる道具箱」

作品を見ることを楽しくす

るクラフトキットやクイズ

&スタンプラリーに挑戦し

ます。※参加料無料

内容 ワークショッププログラム

「こどものアトリエ」

美術家の山口百子さんと、

美術と親しむワークショップ

プを5回開催します。

①7月29日(日)②8月2日(木)

③8月5日(日)④8月8日(水)

⑤8月12日(日)

申込 「往復はがき」が「FAX」

に必要事項を記入の上、各

日程の10日前までに美術館

へ。※要参加費、定員あり

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

企画展「館藏品展」

日時 8月7日(火)～9月9日(日)

午前9時～午後5時(入館

は午後4時30分まで 月曜

休館)

内容 博物館学芸員資格取得をめ

ざす大学4年生の実習生も

参加して企画展示します。

観覧料 無料

青年の家

☎(73)2400

「サマーフェスティバル・盆踊りの夕べ」

日時 7月7日(土)・8日(日)

午後5時30分～8時30分

(8日は午後8時まで)

内容 盆踊り、おもちゃ、飲み物

の販売他 ※参加無料

一宮市民会館

☎(71)2021

138映画鑑賞会「加山雄三主演

映画「若大将シリーズ」

日時 7月27日(金)・28日(土)

午後1時(開場は30分前)

各日二本上映

入場料 1、500円

二日間通し券 2、500円 ※全席自由

0円 ※全席自由

「加山雄三&ハイパーランチャーズ」

日時 7月29日(日) 午後5時30分

～(開場は30分前)

入場料 ● S席 6、700円

A席 5、700円

※全席指定・未就学児入場不可

一宮市尾西市民会館

☎(62)8222

ドラム・アート・パフォーマンス

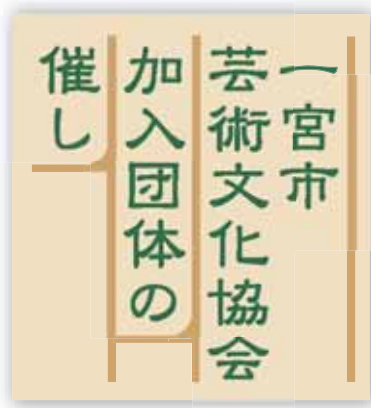
TAO『HIMKO』

日時 ● 9月9日(日) 午後3時～

(開場は30分前)

入場料 ● 5、000円

※全席指定・6歳未満入場不可



『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(77)4536

日時 ● 6月24日(日)・7月22日(日)・

8月26日(日) 午後1時～

会場 ● 一宮スポーツ文化センター

内容 ● 自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ● 無料

申込み ● 当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 ● 6月24日(日)・8月26日(日)

午後1時～

会場 ● 一宮スポーツ文化センター

内容 ● 当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ● 無料

申込み ● 当日直接会場

『一宮市民吹奏楽団レインボーコンサート2012』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)9987

日時 ● 6月24日(日)

午後1時30分～3時30分

(開場は開演の30分前)

会場 ● 一宮市民会館

入場料 ● 500円 前売400円

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(62)4654

日時 ● 7月8日(日)・8月12日(日)・

9月9日(日) 午後1時～

会場 ● 一宮スポーツ文化センター

内容 ● 真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料 ● 無料

申込み ● 当日直接会場

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51)2286

日時 ● 8月11日(土)・9月8日(土)

午後1時～

会場 ● 葉栗公民館

内容 ● 各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料 ● 無料

『おりもの感謝祭 一宮七夕まつり 第40回学生書道展 第19回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎(62)1841

日時 ● 7月14日(土)・7月15日(日)

午後1時～4時

15日は午前10時～午後4時

会場 ● 一宮スポーツ文化センター

内容 ● 上位入賞作品と役員、指導者の作品を展示。

入場料 ● 無料

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)9987

日時 ● 7月29日(日) 午後4時30分

～5時30分(予定)

会場 ● 真清田神社特設舞台

観覧料 ● 無料

『黒岩山車保存会 川祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84)0013

日時 ● 8月4日(土) 午後7時～

会場 ● 石刀神社(浅井町黒岩)

内容 ● わら舟を乗せた山車に提灯を飾りつけ、お囃子とともに練り歩きます。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84)0013

日時 ● 8月5日(日) 午前9時～

会場 ● 島村公民館(島村字岩畑)

内容 ● 市の有形民俗文化財である島村地区の文楽人形の虫干しをします。

『瀬部山車・白台祭保存会 白台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84)0013

日時 ● 8月16日(木)

午後6時30分～

会場 ● 八剣社(瀬部字大門)

内容 ● 山車の上に提灯をかけた、笛や太鼓のお囃子に合わせ境内をねり歩きます。

いちのみや文芸 2012 作品募集

1、募集種目

① 随想・随筆 一人一編

(本文は、4000字詰)

原稿用紙3枚以内)

② 現代詩 一人一編

(本文は、4000字詰)

原稿用紙3枚以内)

③ 漢詩 絶句、一人2首以内

④ 短歌 一人8首以内

⑤ 俳句 一人10句以内

⑥ 川柳 一人10句以内

⑦ 狂俳 一人10句以内

2、応募上の注意

① 応募は、一人3種目以内とします。

② 用紙は、A4判の4000字詰原稿用紙とし、種目ごとに別紙を用いてください。

ワープロなどの機器を使用する場合は、A4判白無地の用紙を横長に用い、20字×20行で印字してください。

③ 原稿は縦書きとし、文字は正確に読みやすく書いてく

ださい。

④ 原稿には、欄外に種目を記入してください。その他に氏名、号(必要に応じて)、年齢、住所(番地まで正確に)、郵便番号、電話番号を記入してください。なお、氏名および号には振り仮名をつけてください。

⑤ 応募原稿は返却しません。

3、応募資格

市内在住・在勤または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している人

4、作品の採否

応募作品の採否については、編集委員が選者となり、編集委員会が決定します。

5、応募方法

〒493-8511 (住所記載不要)
一宮市芸術文化協会事務局
『いちのみや文芸』係

(一宮市教育委員会 生涯学習課内)までお送りください。
7月2日(月)必着

6、発刊予定

平成24年10月20日(土)
1冊800円(予定)

いちのみや民俗芸能のつどい

入場料
無 料

8/26
正午～④

会場：一宮市民会館

一宮民俗芸能連盟の加盟団体が 市内各地に
伝わる民俗芸能を上演します。

[出演予定団体]

石刀祭山車保存会

北方ばしょう踊保存会

一宮真清伶人会

馬寄木遣音頭保存会

宮後住吉踊保存会

島文楽保存会

機織唄保存会

馬場獅子屋形打囃子保存会

瀬部山車・臼台祭保存会



Shima-Bun-raku

[題 字] 武 山 翠 屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809